

人権コラム 心、豊かに

◆ リボンに込められた思い

テレビのニュース等でリボン型のピンバッチを胸に着けている人や同じ色のリボンなどを身に着けて啓発活動をしている人たちを見たことはないでしょうか。これは「アウェネスリボン」と呼ばれるもので、“アウェネス”には「気付く・意識する」という意味があります。アウェネスリボンは「〇〇リボン」と名のつく活動のシンボルであるリボンを総称するもので、それぞれの色が表す様々な社会問題に対して、支援する活動への参加や賛同の意思表示として世界各国で使用されています。代表的なものとしてピンクリボンがあり、乳がんの早期発見や早期治療の大切さを啓発する意味があります。また、障がい者の社会参加の支援を意味するイエローリボンは、障がい者個人が尊重され自立できる社会の実現を目指す意思が込められています。女性へのDV（配偶者からの暴力）の根絶を意味するパープルリボン。さらに、北朝鮮による日本人拉致被害者救出やその家族の支援を意味するブルーリボンの青色は、被害者の祖国日本と北朝鮮を隔てる「日本海の青」、被害者と家族を唯一結んでいる「青い空」をイメージしています。その他にも、日本では児童虐待防止を意味し、海外では反人種差別を意味するオレンジリボンなど、一つの色が複数の意味を持つものや複数の色の組み合わせによって意味を持つものもあります。

リボン以外のものでもそのリボンと同じ色の衣服や小物などのアイテムを身に着けることで支援の意思表示になります。自分が賛同する活動にアウェネスリボンがあるか調べてみるのも良いかもしれません。

一人ひとりの小さな行動から問題解決の糸口になったケースも少なくありません。「力になりたい」という思いを目に見える形で周囲に意思表示することで、その先の行動に移すきっかけとなります。自分だけでなく周囲の人にもリボンの色に込められた思いの輪を伝え、広げることから始めてみませんか。